



俳句

稲井爽秋 選

猫眠る縁あたたかき冬至かな  
岡田久夫

喪の葉書日に日に嵩む年の暮  
青野義明

孫達と数の子噛めば音楽し  
菅 博武

健やかに八十歳むかへし雑煮かな  
尾崎康博

冬陽さす母の細身をさすりやる  
三谷福美

風の子のおしくらまんじゅう冬ぬくし  
高橋和子

懐に科学館抱き山眠る  
秋山露子

深ぶかと松の亀甲寒に入る  
尾崎紀子

川柳

伊藤凡々 選

あの人の器で水が澄んで来る  
佐伯明美

孫の顔見た喜びときびしさと  
元山莊一郎

手短の適材適所朝ドラに  
杉田知恵

二十年我が子のようなシクラメン  
榊原志都子

気がつけば味方はいつか妻ひとり  
池田千賀子

慌て者いじめイメージ読み違え  
曾我部水位山

勵まして悟す寮母のケアハウス  
高橋和子

窓ごしにお日様へ向くシクラメン 林マキ子

短歌

岡田 弘 選

梅白く咲き初む宮の境内に  
岡田久夫

願ひ文結ふ乙女等の群れ  
岡田久夫

柿の枝につるす漬物大根は  
藤田ウメノ

石鎚おろしに日に日に乾く  
藤田ウメノ

貴婦人となりし思ひに仕立てをり  
首藤ツギ子

古代紫の小紋の着物  
首藤ツギ子

大寒の薫の薫着る寒牡丹  
伊賀和子

恥ずかしそうに紅く下むく  
伊賀和子

長男と退院約せし両の手も  
高橋美枝子

今は冷たく夫逝きましぬ  
高橋美枝子

連れ立ちて神の社に詣でたる  
越智幸子

デイサービスの一日嬉しき  
越智幸子

冬至きて買物袋の荷の中に  
森田 薫

手毬が程の南瓜もありぬ  
森田 薫

細き木の枝に大きい花梨の実  
木原ツイ子

あまた色づき匂ひ漂ふ  
木原ツイ子

俳句・川柳・短歌 作品募集

■俳句・川柳・短歌の別を書き、漢字にはふりがなを振ってください。住所・氏名・電話番号を明記し、毎月1日までに担当課へ郵送・持参してください。

応募先

〒793-8601 明屋敷164  
市庁舎本館 総務課 広報情報係  
TEL 0897-56151 内線2128

Your Friendly Neighbors

世界のゆかいな仲間たち

No.23 アンパンマンと僕



▲外国語指導助手  
ダンカン・ウォルシュさん

僕は、日本に来て最初の数週間を決して忘れることができませんでした。スーパーへ買い物に行ったときは、いつも困りました。歯磨き粉と間違えて足用クリームを買ったり、シャンプーのかわりに、トイレ用クリーナーを買ったりしていました。安いお米を買ったと思ったら、それが一番高いお米だったというのは

最悪な思い出です。家に帰ったら帰ったで、炊飯器の使い方が分からず、ご飯が炊けませんでした。毎日何かするたびに日本語の使い方を間違えて、イライラして戸惑っていました。

日本に来て2週間目、少しホームシックになってきました。幼い時から、悲しい時や淋しい時に、必ずチョコレートを食べていたので、ある日チョコレートを買に行きました。でも、チョコレートとあんこを間違えてアンパンを買ってしまいました。その時からアンパンが嫌いになりました。

スーパーに出かけたら雨が降り出して、びしょぬれになってバスに乗り込みました。とてもみじめで自分自身に腹が立ってきて、アンパンを食べてみたけれど元気になりませんでした。その時、バスの運転手さんが笑いかけてくれました。お互いの言葉は全く通じませんでしたが、何とかコミュニケーションをとろうとしてくれていて、バスを降りる時には友達になっていました。その後、晩御飯を買いに行ったら、店員さんがただでアンパンをくれました。ラッキー！アンパンが嫌いなはずなのに、嬉しくなりました。それから、帰宅すると家族の手紙が届いて、僕は100%元気になりました！僕はアンパンがあまり好きじゃないけど、これからアンパンマンのような勇気を持ちたいと思っています。